

2019年度自己評価結果公表シート

学校法人聖リゴリオ学園
諏訪聖母幼稚園

I. 本園の教育目標

① 宗教教育	キリスト教的人間観（正義・愛・平和）に基づき優しい心、思いやりの心ある子どもに育てる。
② モンテッソーリ教育	モンテッソーリ教育を通し「自由」と「責任」の中で一人ひとりの子どもが自ら考え、自ら選び、自ら成し遂げていく力を付けられるよう援助する。
③ 集団生活	集団生活の中でお互いを認め合い、助け合う社会性を育てる。
④ 心、からだ	豊かな情操と創造力、行動力をもった逞しい心とからだを育てる。

II. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

1. 重点的に取り組むことが必要な目標	2019年度年間目標 「えがおですごそう」 「かんしゃのこころをつたえる」
ひ 人を大切に	
か 感謝し	
り 理解し合い	
の のびのび元氣よく	
こ 心の強い子	
2. 目標達成のための取組み計画	
次の具体的取組み内容について教職員の共通理解をはかり、日々の教育活動の中で適切な指導を行うとともに、保護者への発信とニーズの確認を行い、常に目標達成を目指し取り組む。	
<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で挨拶や活動ができるように環境を整える。 ・友だちと力を合わせ、助け合いができる。 ・人の話を聞いたり、自分の思いを言葉にして伝える中でお互いの気持ちを理解しあう。 ・神さまの愛を知り感謝の気持ちを分かち合う。 	

III. 評価項目の達成及び取組状況

評価の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成している
 C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった

評価項目		取組状況	自己評価	関係者評価
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教育目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知している。 ・全職員で共通理解を図りながら、クラス、学年、園全体の教育活動の充実を図っている。 	B	B
	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの中で、各職員の役割を明確にし周知徹底している。 ・避難訓練を計画的に実施し、緊急事態への備えを万全にしている。 ・園内での事故をなくすための工夫と努力が十分になされている。 	C	B
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・園から適切な情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を深める取り組みをしている。 ・参観や行事への参加は日程に配慮し、定期的実施している。 ・関係機関との連携が十分なされるよう努力している。 	C	B

評価項目		取組状況	自己評価	関係者評価
教育活動	教育目標に基づいた教育計画の編成と実施のための教職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教教育の方針に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ・モンテッソーリ教育の分野・課程に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ・クラス・学年の活動の中で、社会性を育むよう指導がなされている。 ・心をこめたあいさつができるよう、教職員が手本となり十分な指導がなされている。 ・子どもの創造力や行動力を豊かに育むための指導を積極的に行っている。 	B	B
	発達段階に則した適切な幼児の環境理解	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもを大切に、発達段階に応じた適切な指導、援助を徹底している。 ・自主的、主体的に取り組めるよう、環境に十分配慮を行っている。 ・身近な自然や社会とかかわり、豊かな情操が育めるよう環境に十分配慮している。 	B	B
	幼稚園と小学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向け、学校での教育内容や生活について情報を収集し、適切かつ十分な指導を行っている。 ・配慮の必要な子どもについて、必要な情報を小学校と共有し十分な連携が行われている。 	B	B
	教員の資質向上、研究、研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学園研修・園内研修に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ・外部の研修会や研究会に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ・キリスト教精神に基づく奉仕と感謝の心で職員が協力して前向きに日々の職務にあたり、子どもの良き手本となっている。 	B	B

IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	<p>【総合評価】 10月より保育の無償化が行われ、また新年度より認定こども園になるにあたり、新たな取り組みが評価される部分もあるが、変更事項について地域にも丁寧な発信が必要と指摘があった。県内の災害などもあり、危機管理や災害対策についても見直す必要との意見が出された。教育の質の向上についてはケガや事故につながらないよう職員の体制の見直しについて強い要望も出された。これらを踏まえ、総合判断は昨年より0.2ポイント下がったが、おおむね達成されていると評価された。</p>
----------	--

V. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の園目標や方針理解のため、ICT化を進めて丁寧に目に見える形での発信を行う。 ・防災、防犯に関する新たな問題を確認し、対応の確認と具体的取組みを更に進める。 ・地域に幼児教育への理解を更に深めてもらえるよう、地域と連携した取り組みを行う。 ・保護者の疑問や不安に迅速に対応できるよう、ICTを効率よく利用できる体制を整える。 ・教員の資質向上のため、外部研修の活用と定期的な園内研修のにより成果に繋げていく。 ・共働き世帯の増加により、預かり保育の充実や未就園児の受入れ等、子育て支援体制を強化する。

VI. 学校関係者の評価

<p>総合的に見ておおむね達成ができており、特に指摘するべき事項はなく妥当であると認められた。</p> <p>(その他のご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が負担になっているとの意見も多いため、見直す必要があると感じる。 ・支援の必要な子供が増えており、サポート体制の充実が必要に思われる。 ・家庭や地域をうまく巻き込んで、園を支えていく体制づくりを方法を検討すべき。 ・空き教室の活用に取り組んでおり評価できる。今後も地域への開放も含め検討してほしい。 ・食育の取り組みは評価できる。子どもたちの健康や心の教育積極的に取り組んでほしい。

VII. 財務状況

公認会計士監査により、適正であると認められている
